

感震ブレーカー設置のお願い

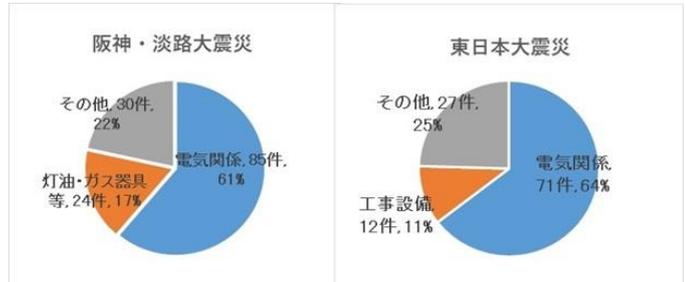
安城市議 石川 博 雄

① 火災原因は「電気」、対策は「感震ブレーカー」

大地震は、今後30年で7～8割の確率とされます。私たちが生きている間に、まず起きる確率です。

大地震で最も恐ろしいのは、火災です。水が止まり、消す方法がないからです。火災原因は何でしょう？それは、実は「電気」です。大きな揺れが、屋内の配線を損傷し、電気機器を損壊させる。その後の通電再開により、屋内から発熱・発火するのです。

対策はあるのか？決め手は「感震ブレーカー」です。震度5強の揺れを感知し、自動的に電気を遮断します。その時、外出していても、ブレーカーが働きます。これで、通電再開があっても安心な状態になります。地震がおさまったあと、配線などの安全確認をしてから、ブレーカーを入れれば良いのです。



② 安城市の「補助制度」※

感震ブレーカーの設置費用は、分電盤タイプ(後付け型)で、およそ2～3万円。市の補助制度では、このうち1万円を補助してくれます。

(※)補助金は、令和2年度限り、年間100件、申込先着順です。

補助の対象機種は、分電盤タイプ(内蔵型・後付け型)だけです。簡易なタイプもありますが、安定性を欠くため、対象外となっています。

手順は次のとおりです。

- ①電気工事業者に自宅配線を見せて、機種決定、見積書もらう。
- ②市へ補助申請、市から決定通知。
- ③工事前・後の写真撮影、設置工事。
- ④市への実績報告・補助金請求。市から口座への補助金の入金。



③ 設置したひとの声

漏電ブレーカーも一緒に設置でき、割安だった

いずれ必要だったから、できて良かった

自己負担は1万円余で済んだ

外出時、出張時でも守ってくれるので安心

安城市内は、古い木造家屋が多く、隣に息子・娘の新築もあります。火災を起こせば、古い家も新しい家も一緒に燃えてしまいます。家は無くなり、ローンだけ残ってしまいます。また、高齢者だけの世帯も多くあります。火災が起きれば、親しんだ町並みまで失ってしまいます。

今できる地震対策が、感震ブレーカー設置です。いつ大地震がきても、火災さえ防げれば、被害は最少限に抑えることができます。皆さん、どうか補助金による感震ブレーカー設置をご検討ください。

【問い合わせ 安城市役所 市民生活部 危機管理課 電話 0566-71-2220】